□本校の概要
□本校、本年度99周年を迎え、常に地域と密接に関わりながら発展してきた学校である。今年度、大田区教育委員会教育研究推進校としての発表を控え、研究主題を「未来をつくる健康教育」とし、地域にある東邦大学大森病院とも連携を図り、生涯にわたって健康を保持、増進する資質能力や他者や社会の安全に貢献できる資質・能力をもった児童を育てるために全教職員で教育活動に取り組んでいる。また、基礎的・基本的な学力の定着を目指し、授業改善を行いながら粘り強く日々の授業を展開しており、年々伸びが見られるようになってきている。学習習慣の定着と授業改善によって、今後もこの傾向を維持していく。また、生活面においては、規範意識や基本的な生活習慣の定角に同じて課題が見られる。研究推進委員会、生活指導部を中心に継続的に規範意識、基本的生活習慣の定着に同けて取り組んでいく。日々、「挨拶ができる学校」を目指し、挨拶運動等の取組を進めてきたことで、地域からも認められる成果を得るまでに至っている。今後も「挨拶」「言葉遣い」に力を入れ、家庭・地域との連携を強化し、規範意識の向上・基本的生活習慣の定着に努める。
□本校の特色として「地域との連携」を挙げることができる。"人との関わり・地域との関わり"と称して、近隣教育施設との連携や、大森町・梅屋敷の二つの商店街や中小の町工場と連携した学習、「スクールサポートおおさん」を中心とした地域人材の活用による活業の展開をがまたより、一個単独している。(スクールサポートおおさん)を中心とした地域人材の活用による活業の展開をがまたり、自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

項目	目標	<sup>屬推進</sup> Lでいる 関係者評価の結果の概要と改善策 取組内容	取組指標	取組評価		11177	成果 評価		評価	人数	
プニ		外国語教育指導貝を効果的に活用	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上が回答した。	_	「これからの社会 の変化に対応する	8		○健康教育をテーマにした研究発			○健康教育研究発表会への 取組は、大変素晴らしく、
ラン	コケ能活とるれ会し対ミーカ用も力かのな応ュシ、能に等ら変やすニョ情力生、の化かるン報、きこ社にに子	し、外国の方々とのコミュニケー・ション能力の育成等を図っている	2:60%以上が回答した。 1:60%未満であった。	3	子どもを育てるエ	5 % 以上		表会に向けての日々の学習を通して、発達段階に応じた健康を保 持、増進する資質能力を育むこと	Α	7	児童の熱意や発表内容に
		論理的、科学的な思考力の育成を目	4:全教員が行った。		」夫をしている」 (外国語教育、理						いた。タブレット端末を( う学習は、自習の中に自然
		指し、「おおたのものづくり」を生 かした体験活動や理数授業等を実施		3	数教育、ICT活 用、人権教育、体	3 :		ができた。 OICT機器を活用した授業は日常	$\vdash$		に取り入れられていて浸む
来		する。	1:60%未満であった。 4:設置教室を使用する全正規教員が週1回以上活用し		力向上等)と保護	7		的に全学級で実施することができ		4	している。児童が使っている様子をみて驚き、感心
		」の足角と子ぶ息鉄の仲長を日相 3 ICT機器を活用した授業を実 2	0 0000010744488774700177014	4	4 答した割合 (ただし、各学年 A:そう思う≧ 4 B:少し思う)	以上 (77%)		た。 〇人権週間の取組を中心に、各教	В	4	<i>t</i> =.
を ;		<b>心りる。</b>	1:60%未満であった。				3	科等の学習と結び付け、児童の人			○主体性や創造性が育まれるような取組が多くてよ
劊 :		忉右()) 人権を貸申する人権教育())推	4 : 対象となる全学級 (全教員) で行った。 3 : 80%以上で行った。	1		2 : 6		権感覚と人権意識の涵養を促し た。エール・ウィークの際には、			かった。
		進を目指し、人権教育資料等を活用 した授業を実施する。 体カテストの結果を踏まえ体力向上 4 全体計画を作成し、計画に基づいた 3 体育指導や「一校一取組」運動や 2 「一学級一実践」運動を実践する。 1	2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。	3		5 % 以上			C		○これからの社会に対応  し、変化に順応していけ
=			4:全教員で行った。								ような体験活動が必要で
生し	白信た自に		3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。			1 : 6 5%					│り、それを生かせる教育 │期待している。
ବା			1:60%未満であった。 4:全教員で行った。								,
子供		生涯をにわたって健康を保持、増進する資質能力の育成に努める。	3:80%以上の教員で行った。	4		未満		る。		U	
			1:60%未満であった。 4:対象となる全学級(全教員)で行った。		「基礎的な学力が	4 :		○学校における基礎的・基本的な			○校長、副校長、教職員 <i>0</i>
	児一のをか定す ・ひぶめ学させ 生と意、力せ をかます。	し、一人ひとりの字習のつますきや	3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。	3	身に付いている」 と保護者アンケー	8 5 %		学習内容の定着に向けた指導や取組はできている。タブレット端末の保護者機能を使って、学習の様	Δ	9	皆様の努力で一人一人が
プ ラ IE		字省方法について、指導する。	1:60%未満であった。		トで回答した割合	以上				3	りやる気が出ている。こからも御指導をお願いし
		昇剱・剱子到達度をステップ子音	4 :学期に2~3回知らせた。 3:学期毎に知らせた。	_	(1.10) 724	(88%)		子やステップ学習の進捗状況を伝			い。
.  -		ナェックシートで児里・生使、保護者に知らせる	2:年度間に1回は知らせた。	3	A:そう思う≧	7 5 %		え、共通理解を図った。児童一人 一人の実態や課題に合わせた学習 を進めるためには、保護者への理 解啓発も推進する必要がある。 〇平日補習、土曜補習ともに実施 の仕方や児童、保護者への通知等 は検討し来年度も実施する。	D	2	○まなびポケット等を使って学校と保護者との意思
-   "			4:対象児童・生徒への出席を全教員が働きかけた。	$\vdash$		以上			В	4	通ができている。
.  :		学習補助員等による算数・数学・英 語の補習を実施する。	3:80%以上の教員が働きかけた。 2:60%以上の教員が働きかけた。	3		2 :	4				」○普段の学習への取組は、 放課後のひろばや児童館
١,			1:60%以下の教員が働きかけた。	1_		6 5 %			_	0	自主的に学習に取り組ん
١.		授業改善推進プランを、授業に生か		3		以上			Ü	0	いる児童の姿が多く見らることから、学力の定着
			2:60%以上が回答した。 1:60%未満であった。			1:					学習の習慣付けができて
		週2回の学びタイム(朝学習)を確	4:全教員で行った。			6 5 %			٢	0	る。先生方の熱意が成果 して表れている。
		実に行い、音読・漢字学習や計算練 習を毎日の学習とし、基礎・基本の	2:60%以上の教員で行った。	4		未満			D	0	5 - 2010 - 0 - 0 0
-		定着を目指して繰り返し家庭や学校 小中一貫による教育の視点に立った			「あいさつがきち	4 :	$\sqcup$				○一人一人の子どもたちに
		生活指導の充実により、社会のルー	3:80%以上の教員が行った。	3	んとできる」と保	8		<ul><li>○挨拶運動やあいさつマイスター 表彰の取組により、児童の挨拶へ</li></ul>			する取組み方が伝わってし
	フじチュ		1:60%未満であった。		護者アンケートで 回答した割合.	以上		の意識は比較的高い。今後も自分	Α	9	る。思いやりと優しさのあ 子どもにめぐり合うことか
	子ども一人 一人の正義	道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した	4:学期に2~3回(年間6回)以上行った。		(ただし、各学年	(91%)		から、場に応じた挨拶ができる児 童の育成に努める。			多々あり嬉しい。
ļ	感や自己肯 定感、自己	授業等を行う等道徳指導充実のため	2:年度間に1回以上行った。	3	A:そう思う≧	3:		○いじめアンケートや学校生活調			」○挨拶運動で学校が朝から るい空気に包まれている。
			1:実施しなかった。 4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。		B:少し思う)	7 5 %		査、WEBQUを活用し、いじめ、	_	0	ても良い取組であり、続い ほしい。道ですれ違った関
	有用感など を高めると	チェック) の結果よりストレス症状 のみられる児童・生徒に対して組織	3:80%以上の教員が回答した。	3		以上		不登校等の問題行動に対して組織 的に対応している。また、全教職	В	2	に、挨拶すればしっかりと
	をと他尊をなへ満なく局もの重育どのち心みのに生す成、希たをまる、命るす未望豊はする、命をあまる。	的に対応する。	1:60%未満であった。					員にゲートキーパー(自殺予防)			してくれる児童が多くいる  ○いじめ問題は大事なこと
1		字校いしめ防止基本万針に沿って、	4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。			2:	4	研修を行った。	С	0	ので研修を続けてほしい。 教職員にゲートキーパーの
		いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。	2:60%以上の教員が回答した。	4		5 % 以上					を行ったことは評価できる
Ι.			1 : 60%未満であった。 4 : 必要な事案に対して必ず会議を実施し、組織的に対								○いじめ、不登校について 後も継続して取り組んで[8
1		問題行動・不登校問題等にかかわる 記章・生徒に関するケース会議等を に施する。	応した。 3:必要な事案に対しておおかた会議を実施した。	3							l'°
			2:必要な事案に対してあまり会議を実施しなかった。			1: 6 5% 未満			D		- ○児童が嫌なことをされた  きに「いじめアンケートに
			1:必要な事案に対してほとんど会議を実施せず、組織 的な対応をしなかった。								く。」と話しているので、 校がきちんと対応してくれ
			4:児童への参加を全教員が働きかけた。 3:80%以上の教員が働きかけた。			/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /				0	ものと信頼を寄せているこ
		チャレンジにすべての児童が参加できるようにする	2:60%以上の教員が働きかけた。	4							を感じる。  ○心の教育、良い悪いの判
ار	 スポーツに	「早寝・早起き・朝ごはん」月間の	1:60%未満であった。         4:全教員で行った。		「児童の安全確保	4 :	$\dashv$	○健康教育について研究を進めて	$\vdash$		<u>め」め物 動物 植物等に</u> ○児童の健康と体力向上の
5 3	ス親育動着力どわ康る上まホし成習にの、た増意をすーむや慣よ向生っ進識め。ツ心、のる上涯てをのざツにの運定体なに健図向しにの運定体なに健図向し	取組等を通して、児童・生徒や保護 者に対し、望ましい生活習慣につい	3:80%以上の教員で行った。	4	に努め、体力の向上が見られる」と	5 %		きたことが、児童の運動、睡眠、	Α	6	め、保護者と学校が連携し 取り組んでほしい。
ا ا		ての意識啓発を行う。	1:60%未満であった。		保護者アンケート			食事に対する意識、知識、実践力 によい影響を与えた。体力の向上			○SUN3タイムなどで積極
1		福見行得及い教科寺における指導を 通して、食生活の充実・改善をわら	4 : 全教員で行った。 3 : 80%以上の教員で行った。	4		3:		や健康の増進について組織的な指	В	5	に体を動かしている児童だい。先生方が一緒に体を動
Ρ,		ハレーた「食育」を堆准する	2 : 6 0 %以上の教員で行った。 1 : 6 0 %未満であった。	4	(たたし、各字年)	5 % 以上		導が充実してきた。次年度以降も 継続し、児童自らがめあてに向 かって取組を考え、実践できるよ うにしたい。 ○「早寝・早起き・朝ごはん」の 取組などを中心に保護者との連携 がさらに必要である。	ם	Э	していて、素晴らしい。
, נ		体育的行事 部活動 休み時間など	4:全教員で行った。	$\vdash$		2:					○プールに関して「暑さ対 策」が必要。毎日実施でも
5 7		様々な機会を通して運動習慣の確立	3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。	3		6 5 %			С	0	かの判断が難しそうだった ○「学校への行き渋り」や
		を班性する	1:60%未満であった。	1		以上 1:					庭でのゲーム、YouTube
₫.		ルタイム」を計画的に実施し、主体	3:80%以上の教員が回答した。	4		6 5 %			D	0	多さなど以前より目に付っ 況がある。御家庭での意
		的に運動に取り組み、体力向上を図 る。	2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	<sup>†</sup>		未満			٦	J	含めて時代に合った生活での見直しが必要なのではな
Ť		9.0	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		「授業改善に努め	4:		○年3回の管理職観察授業以外で			○校長、副校長、担任、補
		授業改善に生かす。	2:60%以上の教員が回答した。	3	ている」と保護者 アンケートで回答	5 % 以上		も、管理職や教員同士の授業観察が行われている。ICTカフェ、体育研修など、自主的な研修が行われており教員の学ぶ意識は高い。 ○校内特別支援委員会は毎月実施し、個に応じた支援ができるよう	Α	9	員までそれぞれが役割を会し、一人一人の児童に向る
إ	児童・生徒	授業改善セミナー等の研修成果を生	1:60%未満であった。 4:学期に2~3回(年間6回)以上行った。	_	した割合	_					い、安全に授業が行える( がつくられている。
7	が安全・安 心に学校生 活を送るた	かし、主任教諭が助言・支援を行う	3:学期に1回(年間3回)以上行った。	3	(ただし、各学年	3:					○研究発表会や各学年の研
		校内研修等を実施しOJTを充実させ る。	2 : 年度間にl回以上行った。 1 : 実施しなかった。	Ĭ		7 5% 以上			В	2	授業で一人一人のやる気がの輝きが見えてよかった。
	古を送るた めに、教員		4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。	_			ر	組織的に進めた また 延修を行			○先生一人で30人学級をある。 のは難しい。「個に応じた」
1	の上教では、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	果を、自身の授業改善に生かす。	2:60%以上の教員が回答した。	3	3	2:	3	祖極的に進めた。また、研修を17 い、教員の指導力向上に努めた。			とするには、保護者、PT
		4	1 : 6 0 %未満であった。 4 : 月1回以上行った。			5%			С	О	地域の連携が必要。 ○個別対応の必要性、人員
- 1 '		校内委員会等を確実に実施し、学校				以上				-	問題はあるが、日々の担任
			1:実施しなかった。			1:					先生方の御苦労には頭が   る。
		子期毎の授耒観祭を行うとともに、	4:教員相互による授業参観を3回以上行った。 3:教員相互による授業参観を2回行った。	,		6 5 %			D	0	○放課後を含め、児童の安
		教員相互による授業評価を年3回以上行い 授業力の向上に努める	3:教員相互による授業参観を1回行った。	4		未満				9	安心を日々守っている学校 係者の皆様に少しでも協っ
P		教育目標・学校経営方針・学校評価			「学校は、地域の	4:	$\dashv$	  ○学校ホームページについては、	$\Box$		<u>たい</u> ○コロナの影響で関わりが
:	学庭担どし開育目す相を校・うを、かの指。互深・地役明地れ実しまのめ家域割確域た現また連がなにに教を、携名がなにに教を、携名がなにに教を、携名をがない。	等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更	3:学期に2~3回更新した。	3	カを子供たちの数	8		保護者や地域の方々の目線になっ	Α	7	なかったのが徐々に回復しいることを感じる。地域と
,  J		新することにより、積極的に情報を	1: 更新しなかった。		_ いる」と保護者ア   ンケートで回答し   た割合   (ただし、各学年   A:そう思う≧	以上		て大幅に改善し、本校の日々の学習や行事等の様子をよかに発信で		′	コミュニティをより深めて
		地域教育連絡協議会において、児 童・生徒の変容等の具体的な資料を	4:毎回情報を提供した。 3:おおむね情報を提供した。			3 :		習や行事等の様子を十分に発信できた。 ○百周年の取組を通して委員や活動の方向性に対する見通しをもち、コミュニティ・スクールの開設に向けて準備を進める必要がある。 ○地域の人、もの、施設を十分に活用して教育活動を進めている。スクールサポート、PTAとの綿密な連携により学校・家庭・地域			しい。地域・町会もできる り協力したいと考えている。
5		作成して、評価に必要な学校の情報	2:あまり情報を提供しなかった。	3		7			ъ	1	○学校、PTA、地域で具存
t l			4:学期に2~3回行った。			以上 (84%)			В	4	に連携を取れる環境が必要 PTAでは、おやじの会を
		て、地域力を生かした特色ある教育	3:学期1回以上行った 2:年1回以上行った。	3	B:少し思う)		3				上げる。
È -		活動を実践する。	1:実施しなかった。			2 : 6 5%				_	○百周年に向けてより一層 校と地域の連携が図られ、
٠   ,		地域教材を活用して、児里か地域性	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。	_		5 % 以上			С	0	どもたちとともに盛り上げるという意思を強く感じる
<u>b</u>   :		氏や地域施設と関わり、地域のよう を理解	2:60%以上の教員で行った。	3		1:					地域の一員としてできる限
*			1:60%未満であった。		1						の協力をしていく。 ○周年行事への取組は、近
1				1	1	5 %		が一体となった取組を継続してい	D	0	
′∣.	作ります。			1		未満		く。(わくわくスクールや大三ま	_	0	施設としても先生方が頻繁 顔を出してくださったり学